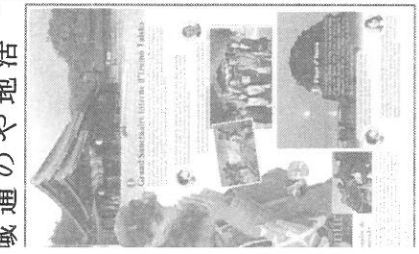


島根大学法文学部言語文化学科フランス言語文化研究室では、出雲市経済環境部観光課インバウンド推進室と出雲観光協会との協働により、外国人の目線・地元の学生の目線による新しいタイプの出雲市観光パンフレット『フランス語版』Ⅱ写真Ⅱをこのほど作成した。

ここ数年、フランスからの観光客の増加に伴い、フランス語版での交通案内・観光パンフレット・博物館解説の作成 通訳ガイド養成への要求が高まっている。そこで、フランス・エヴィアン市と姉妹都市でもある出雲市の魅力をフランス人観光客に向けて紹介し、誘客を推進するため、フランス人観光客の心に響くような新しいタイプのパンフレットの作成を昨年10月から進めてきた。

フランス語による紹介文の作成・翻訳作業を経て、今年3月末に完成した。

この活動は、地元団体や企業との連携を通して地域



広島大では昨年10月から、留学生の自助支援プロジェクトの一環としてホームシックを軽減のための地域との協働プロジェクトに取り組んでいる。

発表会は、地域公開として開催され、地域行政の関係者や学内の教員・大学院生・留学生からも貴重なフィードバックが行われ、実際に機能するプロジェクト完成に向け動き出している。

また、「グローバル化支援インターンシップ」授業(担当:恒松国際センター准教授)の実習の実践報告も行われた。今年2月に行われた「食福フェスティバルにおける国際交流企画」でのHUSAインターンのリーダーシップ・マネージメント・多国籍チームでの協力に関する学びと成果が発表された。

現在、①留学準備・到着後ガイドブック、②広島大学紹介ビデオ、③広島大学サークル&クラブ、④HUSAおすすめリストなど、さまざまな視点からプロジェクトを進めている。7月のプロジェクト完成発表会が期待される。

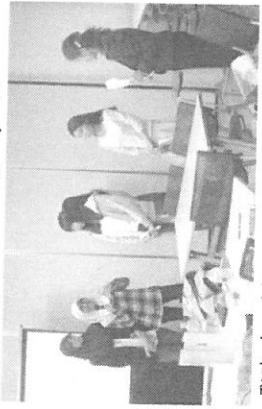


国際交流企画の実習報告を行うHUSAインターン

広島大学では、このほど東広島キャンパスの学生クラブで「グローバル・リーダーシップ・プロジェクト: 大学と地域の協働」留学生の自助支援「ホームシック対策」実践研究グループプロジェクト第2回中間発表会を開催し、短期交換留学プログラム(HUSA)の留学生が成果などを報告した。

北米・ヨーロッパ・オセアニア・アジアの13カ国33大学からの交換留学生39人で構成するグループの代表が、HUSA担当の恒松直美国際センター准教授による英語と日本語の司会・進行のもと実践プロジェクトの進行状況について発表した。

広島大短期交換留学プログラム留学生が発表
グローバル・リーダーシップ・プロジェクト



発表するHUSAプログラム留学生

で優勝。DSPLで準備勝という好成绩を収めた。

また、RoboCupの活動を通じたホームロボットの人工知能に関する九工大チームの研究開発成果が高く評価され、人工知能学

携し、学生グループによる創意的なプロジェクトに対し、活動を強力にサポート。TOYOTA HSRは、九工大大学院生命体工学研究科の研究グループ(田向准教授含む)がトヨタ自動車㈱との共同研究に用いている。